

No. 91
2017.5.1

宇治田原町 議会だより

こにゅ うしよ おめでとう



《目次》

定例会.....	2～7 P
表決結果・討論.....	8～9 P
10議員が町政を問う.....	10～20 P
インタビュー(下岡清富さん).....	21 P

資的大型予算 可決

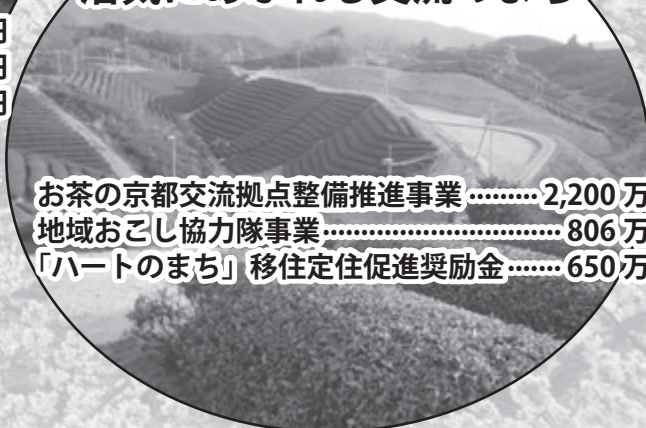
基本目標と主な事業

と学びを応援するまち



施設整備事業 5,591 万円
 設備等整備事業 3,761 万円
 奨励補助金 2,750 万円

活気にあふれる交流のまち



お茶の京都交流拠点整備推進事業 2,200 万円
 地域おこし協力隊事業 806 万円
 「ハートのまち」移住定住促進奨励金 650 万円

平成29年第1回定例会は、3月3日から29日まで開催した。予算関係12件(補正予算6件、当初予算6件)、条例関係13件(改正13件)、一般議案1件(契約1件)、人事案件1件が提出された。また、発委1件、意見書2件が提出され原案通り可決した。その他、決議案2件が提出され、うち1件が原案通り可決された。

当初予算については、予算特別委員会を設置し慎重に審議した。一般質問には10人の議員がたち、活発な議論を展開した。

定例会

会計別の予算

(千円以下切捨て)

会計名	予算額	前年度比 (%)
一般会計	46億3,500万円	+5.2
国民健康保険特別会計	13億4,632万円	△4.5
後期高齢者医療特別会計	1億149万円	+2.8
介護保険特別会計	7億4,818万円	+1.0
公共下水道事業特別会計	6億7,369万円	+6.8
水道事業会計	5億4,663万円	△0.7
総額	80億5,132万円	+2.7

将来を見据えた投

4つのまちづくりの

便利で快適に過ごせるまち

新市街地連絡道路整備事業1億6,600万円
 宇治田原山手線整備事業3,001万円
 空家等総合対策事業500万円

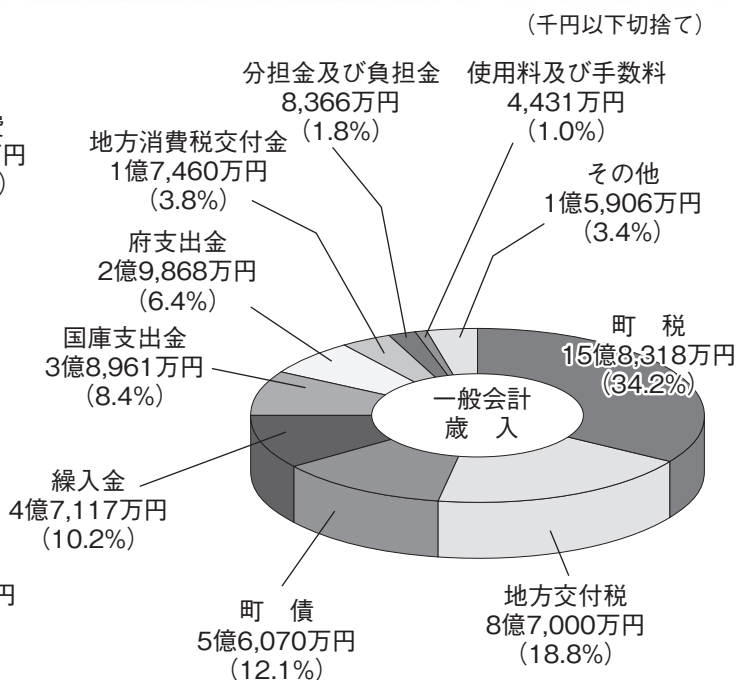
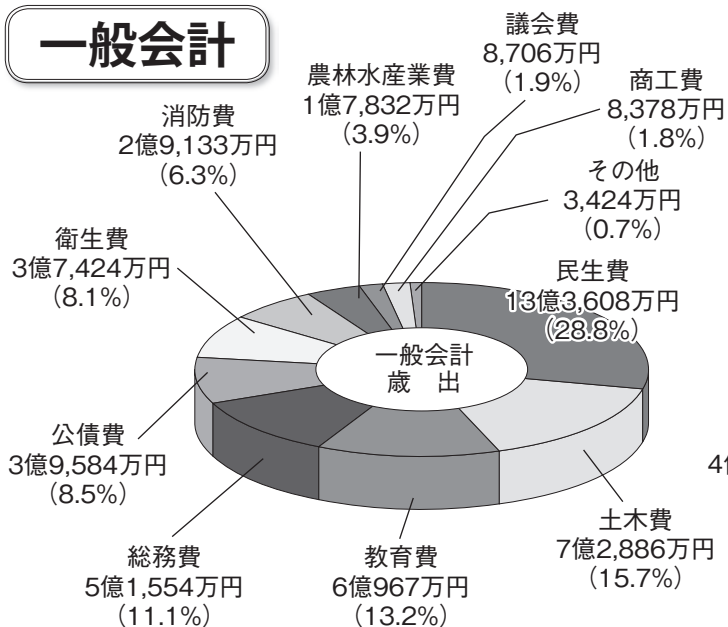
子育て

健やかに安心して暮らせるまち

児童通所支援事業所運営支援事業17万円
 情報伝達システム整備事業288万円
 地域防災対策事業449万円

田原児童育成
 一時保育施設
 高校生通学費

一般会計



(千円以下切捨て)

※端数整理上、予算合計と一致しません

予
算
特
別
委
員
会

定例会

総括質疑

平成 29 年度以降の当初予算及び補正予算に対する調査並びに予算に関する条例に対する調査をするため、予算特別委員会を設置した。委員長に谷口整議員、副委員長に浅田晃弘議員を選任し、委員は 12 名で構成することとした。



現地調査

るのか。

○ 町内に移住定住された方々への奨励金や移住者を雇用した事業者への支援、空家と農地を活用した移住者への各種支援とともに、従来からの事業を継続・拡充し、結婚、妊娠、出産、子育ての切れ目ない支援をバランスよく積極的に取り組む。

○ 町長の政治姿勢について、住民の声をもとにして、町政を進めるとい

う姿勢に改めるべきと考えるが。

○ 町として責任ある指針を持ち、それを住民の皆様丁寧に説明し、意見を伺うことが最重要であるのか。

○ 人口対策・少子化対策について、わが町ならではの思い切った移住・定住対策をどう考えているのか。

○ 新庁舎建設事業について、インフラ整備費を含む総事業費として、いくら見込んでいるのか。

○ 必要不可欠なアクセス道路の整備、防災公園としての機能を有した交流の場としての公園整備など新庁舎と合わせたシック交流拠点整備の事業費は、概ね30億円程度となる見込みである。

○ 人口対策・少子化対策について、わが町ならではの思い切った移住・定住対策をどう考えているのか。

○ 町内に移住定住された方々への奨励金や移住者を雇用した事業者への支援、空家と農地を活用した移住者への各種支援とともに、従来からの事業を継続・拡充し、結婚、妊娠、出産、子育ての切れ目ない支援をバランスよく積極的に取り組む。

○ 町長の政治姿勢について、住民の声をもとにして、町政を進めるとい

う姿勢に改めるべきと考えるが。

○ 町として責任ある指針を持ち、それを住民の皆様丁寧に説明し、意見を伺うことが最重要であるのか。

あり、これが私の考える「住民の声をもとにして町政を進める」という姿勢である。

○ お茶の京都について、事業及び予算は。

○ 「お茶の京都推進事業」や「お茶の京都交流拠点整備推進事業」など5事業と繰越事業である「お茶の京都交流拠点整備推進事業」を合わせて、全6事業で約1億3,710万円となる。

○ 学力充実事業について、どのような点を充実させ、学力向上に取り組むのか。

○ 町費教員を配置するなどを行っているが、学校独自のテスト業者を変更し、学力面における課題をより鮮明にしているのか。

○ 小中一貫教育推進事業について、どのような

活動を計画しているのか。

○ 平成28年度同様、小中一貫教育推進の核となる授業のコーディネーター教員を配置している。

○ 地域子育て支援センターに外遊びができる場所も必要と考えるが。

○ 「パパの子育て」の応援講座の中でもお父さんの協力もいただきながら、整備に取り組む。

○ テニスコートの改修に伴い、使用料等の改定は予定しているのか。

○ 使用料については、社会施設運営委員会等の意見も参考に検討していきたい。

○ 特定健康診査実施事業について、訪問により保健指導を受けられた方の声はどのようなものか。

○ 自ら健康保持のために健康事業に取り組まなければならないと感じたと聞いている。

一般会計

国保会計

後期高齢者医療会計



宗円生家付近

○ 平成28年度同様、小中一貫教育推進の核となる授業のコーディネーター教員を配置している。

○ 地域子育て支援センターに外遊びができる場所も必要と考えるが。

○ 「パパの子育て」の応援講座の中でもお父さんの協力もいただきながら、整備に取り組む。

○ テニスコートの改修に伴い、使用料等の改定は予定しているのか。

○ 使用料については、社会施設運営委員会等の意見も参考に検討していきたい。

○ 特定健康診査実施事業について、訪問により保健指導を受けられた方の声はどのようなものか。

○ 自ら健康保持のために健康事業に取り組まなければならないと感じたと聞いている。

○ 後期高齢者医療会計

○ 制度の改正に伴い負担額が3倍になることに

○ 制度の改正に伴い負担額が3倍になることに

ついでどう考えているのか。

○ 会計基盤が脆弱なものであり、医療費が増加する中、一定の保険料徴収は必要である。

介護保険会計

○ 介護予防、要支援1・2の方が介護保険制度から外れ、市町村で実施する総合事業に移行するが、どうなるのか。

○ 予算的には今までの介護保険制度適用分が地域支援事業に。事業については、地域支援事業、総合事業に移行する。

下水道事業会計

○ 浄化槽について、設置が進まない理由は、

○ 高齢者のみの世帯が多くなってきており、将来的な整備について、あまり積極的になれない事

情があると考えている。

水道事業会計

○ 職員数が1名減となっているが、緊急時の対応等、十分な現場対応ができるのか。

○ 水道事業と下水道事業のバランスを考えた中での減であり、緊急時の対応については、上下水道課が一体となって対応していく。

条例

町内雇用促進条例の一部改正

○ 移住者は空家に限るものではなく、賃貸マンションにも適用されるのか。

○ 3年を超えて町内に居住する条件を設けてあり、マンションや一戸建てという制限はない。

補正予算特別委員会

一般会計

○ お茶の京都交流拠点整備推進事業について、開設した後の管理・運営体制をどう考えているのか。

○ 地元の方々と一緒に運営していくことにしているが、それ以外にも地域おこし協力隊といった外部の方たちも含めた運営を考えている。

○ 来年度はお茶のタワー、ゲッティヤ、お茶の京都博も大々的に実施される中で、開設が間に合わないことになるが、その辺りはどう考えているのか。

○ 間に合うことが完璧なシナリオであると思うが、お茶の京都博自体は、宇治茶若しくは山城

地域のネームバリューを上げるといふ目的があり、今後のお茶振興、宇治茶の消費拡大、山城地域への来訪者の増加に繋がっていききたい。

○ **意見** 普通交付税の算定に係り基準財政需要額に人口減少対策費が新たに算入されたとの説明があったが、人口減少対策、定住移住対策については、交付税の算定でも用いられるほど重要なことであり、早急に担当部署を設置すべき。

介護保険会計

○ 平成28年度末の基金残高が4,200万円程度となり、第6期高齢者介護・福祉計画において

○ 予定していた小規模特養のサービスが提供されな

いこととなったことから、サービスの給付費がかなり減ると思うが、今後の見込みはどうか。

○ 8,600万円の給付費を見込んでいたが、その支出はなくなるため、次年度の計画時に余剰金を考慮して保険料を決定していく。

下水道事業会計

○ 公共下水道(管渠)整備事業の繰越明許費について、岩山地区において発注が遅れたことによる

○ の説明があったが、遅れた要因は何か。

○ 年度前半で2工区、後半で2工区の発注を計画しているが、工区が広く重複すること、また集落

(千円以下切捨て)

会計予算名	補正額	補正後の予算総額
一般会計	△ 9,448 万円	45 億 8,127 万円
国民健康保険特別会計	△ 4,106 万円	14 億 3,166 万円
後期高齢者医療特別会計	115 万円	9,988 万円
介護保険特別会計	5,467 万円	8 億 705 万円
公共下水道事業特別会計	△ 1,912 万円	6 億 272 万円
水道事業会計	収益的支出	2 億 7,292 万円
	資本的支出	2 億 5,653 万円

の込み入った部分でもあり、交通規制、現場管理の関係から遅れが生じたものである。

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦同意

谷川 利明氏 (奥山田)

任期

平成29年7月1日
～平成32年6月30日



文教厚生常任委員会

介護保険条例の一部改正

問 施行期日が今年の4月1日ということであるが、確定申告との関係はどうなっているのか。

答 介護事業所について、本町では、通所やデイサービス、ショートステイ、訪問介護などのサービスは充足していると考えているのか。

問 4月1日以降となるので、今年1月1日現在で確定申告された状況となり、6月当初賦課からはこれを控除した額で算定することになる。

答 デイサービスと訪問ヘルパーについては充足していると感じているが、訪問看護については、事業所がなくなったため、一定不足している状況と認識している。

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

問 小規模多機能型居宅

答 小規模多機能型居宅介護事業所が必要であるが、事業所開設の可能性をどのように考えているのか。

の。

問 小規模特養と同じく、運営的には全国的にも厳しい状況にあり、事業所開設は確率的には低いと感じている。来年度改定を予定している高齢者介護・福祉計画の中で、しっかり検討していきたい。

包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正

問 本町には、主任介護

答 支援専門員がおらず、介護支援専門員で対応しているとのことであるが、今後は主任介護支援専門員を配置したいと思っ

問 介護職や社会福祉士等については人材不足であるが、配置したいと考えている。

総務建設常任委員会

快適・安全な環境づくり条例の一部改正

問 開発協力を廃止す

答 ことで企業の誘致がどの程度進むのか。

問 開発協力を廃止することで企業が誘致される程度進むのか。

土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積行為の規制に関する条例の一部改正

問 番号法については、

問 持ち込み土の安全性について、埋め立てた土砂の土壌調査をさせ、町に報告するように改正するとのことであるが、業者がやるのか第三者機関がやるのか。

答 事業者自らが検査をすることはできないの

で、検査をする機関に出してもらった結果を町に提出してもらう。

個人情報保護条例等の一部改正

問 番号法については、導入時から議論があり、最近も静岡県でふるさと納税事務に関しミスがあったことが新聞報道された。このような事案が今も発生していることをどう考えるか。

答 静岡県のケースは、マイナンバーに関する市町村間の情報連携システムがまだ稼働していない中で的人為的ミスであり、そのような危険性は、今後も100%排除することはできないが、システムの整備はもちろん、取り扱う職員の指導、徹底を継続しなければならぬと考えている。



盛土工事現場付近

附帯決議

議員より附帯決議（※）案が提出され、全会一致で可決されました。

決議案第1号

議案第7号 平成29年度宇治田原町一般会計予算に対する附帯決議

平成29年度宇治田原町一般会計予算については、予算特別委員会において活発な議論の下、慎重審議の結果原案可決されたが、その執行にあたっては下記の事項に十分留意して取り組まれるよう強く求めるものである。

記

1 新庁舎建設事業

- (1) 早期に住民説明会を開催し、町長自らが出席のうえ、住民に対しさらなる丁寧な事業説明を積極的に行うこと。
- (2) 詳細な「土壌・地質調査」を実施し、環境面や安全面での住民の不安を払拭すること。
- (3) 建設位置が現市街地から離れることから、行政サービスの向上や公共交通機関によるアクセスの充実を図ること。

※附帯決議とは

議案の議決に当たって付け加えられる議会としての執行上の意見または要望など議会の意志を表すもの。法的な拘束力はないが、政治的に尊重されるものとされている。

意見書

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

地方分権時代を迎えた今日、地方公共団体の自由度が拡大し、自主性及び自立性の高まりが求められる中、住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任が格段に重くなっている。

また、地方議会議員は、議会活動のほか地域における住民ニーズの把握等さまざまな議員活動を行っており、その職務は近年において、専門化が進んでいる状況にある。

地方議会議員の年金・医療保険制度を時代に相応しいものにすることが、議員を志す新たな人材確保につながっていくと考える。よって、国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。(抜粋)

反対討論

今西久美子議員

国民年金だけの住民が大勢おられる中、議員だけの厚生年金加入を求めることでよいのか。議員は、住民の代表であるからこそ、住民に寄り添い、住民の立場でモノ言うべき。

京都府南部地域に地方裁判所・家庭裁判所支部を設置することを求める意見書

宇治田原町の住民の裁判を受ける権利を十分なものとするために、速やかに京都地方裁判所及び京都家庭裁判所の支部が設置されなければならない。よって、京都府南部地域に地方裁判所支部及び家庭裁判所支部を設置することを強く要望する。(抜粋)

[○賛成・●反対・▲退席・一欠席]

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	谷口重	松本	垣内	馬場	浅田	原田	山本	藤本	山内	今西	谷口整
条例制定・改正	議案第14号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第15号	公共施設整備基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第16号	個人情報保護条例等の一部を改正する条例を制定するについて		✓	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○
	議案第17号	介護保険条例の一部を改正する条例を制定するについて			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第18号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定するについて			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第19号	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定するについて			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第20号	包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定するについて			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第21号	快適・安全な環境づくり条例の一部を改正する条例を制定するについて		✓	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●
	議案第22号	土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積行為の規制に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第23号	森林総合利用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第24号	町内雇用促進条例の一部を改正する条例を制定するについて			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第25号	水道建設基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第26号	都市計画道路宇治田原山手線建設工事委託に関する協定の締結について			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

◎田中議長は賛否同数以外は表決に加わりません

反対討論

快適・安全な環境づくり条例の一部改正

今西久美子議員

開発協力を廃止することについて、住宅開発にかかる負担は移住を促進するため廃止すべきだが、住宅開発以外については、町財政が厳しい折、宇治田原町に進出していただく企業にも協力を求めるべき。

反対討論

個人情報保護条例等の一部改正

山本 精議員

今回の特定の個人を識別するための番号の利用は、番号法が、プライバシー侵害や、成りすましなどの犯罪に対して、依然として問題の解決が図られていない状況にあることから、番号法制度そのものの問題がある。

反対討論

後期高齢者医療特別会計予算

今西久美子議員

後期高齢者医療制度は、改定のために保険料が上がっている。新年度からは軽減措置の縮減で、保険料が3倍になる方もあり、安心して医療を受けることがますますできにくくなる。国における後期高齢者医療制度の廃止を求める。

議決のあらましと表決結果

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	谷口重	松本	垣内	馬場	浅田	原田	山本	藤本	山内	今西	谷口整
人事	議案第27号	人権擁護委員候補者の推薦について			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	意見書第1号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書		✓	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○
	意見書第2号	京都府南部地域に地方裁判所・家庭裁判所支部を設置することを求める意見書			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決議	発委第1号	予算特別委員会設置に関する決議			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	決議案第1号	議案第7号 平成29年度一般会計予算に対する附帯決議			可決	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	▲	○
	決議案第2号	議案第7号 平成29年度一般会計予算に対する附帯決議			否決	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	●
平成28年補正予算	議案第1号	一般会計(第4号)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第2号	国民健康保険特別会計(事業勘定)(第4号)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第3号	後期高齢者医療特別会計(第1号)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第4号	介護保険特別会計(第3号)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第5号	公共下水道事業特別会計(第2号)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第6号	水道事業会計(第2号)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度予算	議案第7号	一般会計	✓	✓	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○
	議案第8号	国民健康保険特別会計(事業勘定)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第9号	後期高齢者医療特別会計		✓	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○
	議案第10号	介護保険特別会計			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第11号	公共下水道事業特別会計			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第12号	水道事業会計			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表決結果

一般会計予算

反対討論

今西久美子議員

高校生通学費補助の拡充、保育所増築、田原学童の新築等は評価するが、高校生通学補助の所得制限はなくすべき。本年度「希望しても保育所に入れない」という事態を招いた。今後は計画的な対応を。

町長が「住民目線」「対話重視」と言うなら、新庁舎の建設予定地を地方紙やうわさでしか知ることができなかった方が大勢いたことをどう説明するのか。真の住民目線で、対話を重視し、住民の声をもとに町政を進める姿勢に改めるべき。

賛成討論

浅田晃弘議員

町長が公約とした「都市計画道路宇治田原山手線整備」「新庁舎建設事業」「人口減少対策と移住・定住対策の推進」という最重要三本柱について、各種交付金等の活用により財源確保を図り、重点かつ積極的に予算配分されている。移住定住者の増加を後押しする施策実施と、一時保育施設や学童保育施設の整備、就学援助の拡大、高校生通学費補助金の大幅な増額などバランスよく積極的な予算編成であり賛成するものである。

一般質問

ズバリ! 町政を問う

3月8日



一般質問

議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。

	質問者	質問事項
1	谷口整	1.施政方針について
		2.新庁舎建設について
		3.小中一貫教育について
		4.地域密着型特別養護老人ホーム設置事業未執行について
		5.東の玄関口整備について
2	谷口重和	1.産業振興
		2.新庁舎の整備
		3.京都南部横断鉄道
3	藤本英樹	1.西谷町長2期目マニフェストについて
		2.防災士について
4	山本精	1.小中学校のトイレについて
		2.就学援助について
		3.都市計画の変更について
5	今西久美子	1.新庁舎について
		2.鉄軌道について
		3.小中一貫教育について

	質問者	質問事項
6	山内実貴子	1.女性の活躍推進について
		2.町事業のPRについて
		3.環境衛生対策について
7	松本健治	1.新庁舎の建設計画について
		2.創生総合戦略について
		3.クリーンアップ活動について
8	垣内秋弘	1.町長の政治姿勢
		2.宇治田原山手線
		3.組織変更後の成果と課題
		4.学校トイレについて
9	浅田晃弘	1.農林業振興の活性化について
		2.町内企業への支援及び情報発信の充実について
		3.安心安全対策の推進について
10	馬場哉	1.西谷町長2期目の施政方針について

傍聴のご案内

宇治田原町議会の本会議を傍聴しませんか。傍聴券は本会議当日に町役場3階議会事務局で発行致します。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>)をご覧ください。議会事務局(☎88-6641)までお問い合わせください。

施政方針・決意は

【答】未来に「希望」と「責任」を持てるよう全力を尽くす



谷口 整
議員

【質問】

2期目に当たり西谷町長の基本的な考え方、決意は。

【答弁(町長)】

「地域の絆」役場職員

の絆「地域の人達と役場職員の絆」をしつかり結び、宇治田原山手線の整備、新庁舎建設、人口減少・移住定住対策の「最重要三本柱」を推進する。



新庁舎建設予定地

新庁舎建設予定地については町長自身の口から十分な説明を

【答】不安払拭に向け思いを伝えたい

【質問】

あの場所が適地と判断した理由と不安の声にはどう考えるのか。

【答弁(町長)】

浸水想定区域や土砂災害警戒区域でなく安心安全な場所、一団の土地で新市街地の形成を見据えその呼び水となる場所であると判断した。地質調査や土質調査も実施し、安全性も確認している。

【質問】

早急に町長出席の説明会開催と不便解消には、住民票や印鑑証明のコンビニ交付や公共交通のアクセス充実を。

【答弁(町長)】

町長が出席し説明会を開催する。証明書等のコンビニ交付は出来るだけ早く運用したい。公共交通検討委員会でアクセス充実も議論している。

小中一貫教育は体裁を整えたとしか見えないが

【答】ふるさと学習や小学校学習発表会に中学生の合唱発表などを取り組んでいる

【質問】

小中一貫教育の理想は施設一体型だが、施設統合には課題も多い。当面は5年生から中学3年生を同一校で学ばせないか。また学力テスト結果は。

【答弁(教育長)】

一つの方策ではあるが現状施設では、教室が確保できない。小6・中3対象の学力テストの結果は8区分中7区分が全国平均以下。

東の玄関口奥山田に道の駅設置を

【答】先進地事例の調査費を検討したい

【質問】

東の玄関口奥山田に化石、西の玄関口山田の化石、西の玄関口石などを活用した仮称「山里の海底の駅」と名付けた道の駅構想を提案するが。

【答弁(町長)】

にぎわい創出と活性化に向け、東の玄関口は奥

山田の化石、西の玄関口は西ノ山集団茶園、中央部は湯屋谷の永谷宗円生家など拠点整備を進めており、その延長上の非常に有効なもの。次年度以降に調査費を検討したい。

遠い未来のためにも鉄道を

【答】構想路線として認知された

【質問】

滋賀県が進めている「びわこ京阪奈線」の鉄道構想では、信楽から宇治田原を通り、京田辺までのルート想定している。京都府南部地域には

「京都南部横断鉄道新線研究会」がある。この鉄道構想は同じルートのようであり、大変夢のある構想である。

鉄道さえあれば交通渋滞の心配もなく、定住移

住や人口問題も一気に加速解消されるのは当然、

大きく推し進めていただきたい。

【答弁(建設環境課長)】

又税収アップにもつながると思う。そのため遠い未来を思い、灯であつてもこの火を消すことなく夢まぼろしで終わらせないためにも、鉄道構想を



谷口重和
議員

新庁舎の財源は

【答】取り巻く状況を注視し、財政運営に努める



新庁舎建設予定地

お茶の京都で大きなイベントを 【答】茶香服を、町をあげての催しとする

【質問】

お茶の京都が今年から

にも大いに期待、貢献すると思うが。

【答弁(建設事業部長)】

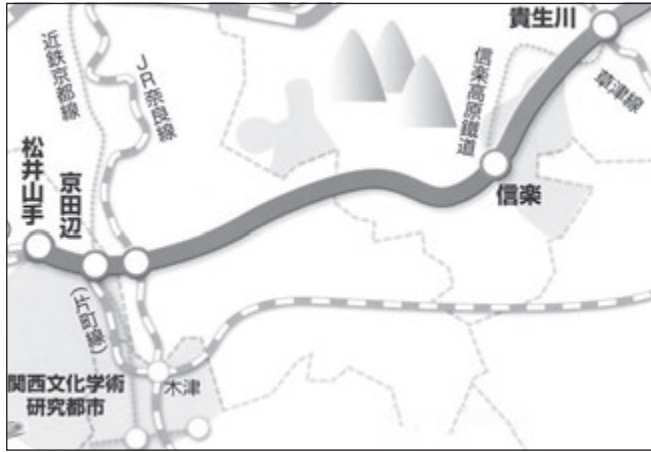
町でもビッグイベントが必要と思う。例えば茶摘み世界大会(ワールド・チャンピオンシップ)等を開催すれば、観光振興

【質問】

新庁舎整備に係る財源

【答弁(プロジェクト推進課長)】

は。中長期的には、現状より厳しい状況が続くと見通しているが、より健全化に努める。



びわこ京阪奈線(仮称)鉄道建設期成同盟会・発行パンフレットより抜粋

人口減少対策、定住・移住対策は

【答】お茶の京都をターゲットに展開する



藤本 英樹
議員

【質問】

2期目マニフェストに掲げた人口減少対策、定住・移住対策と、「お茶の京都」をどう組み合わせるのか。

【答弁(町長)】

人口減少対策と定住・移住対策は、先の町長選挙時に「都市計画道路路宇

治田原山手線の整備」、

「新庁舎建設事業」と併

せて最重要三本柱と位置

付けて住民の方々に約束

した。

平成29年度予算案にも

住宅の新築や中古住宅取

得者に対する奨励金や、

町内の空き家と農地を一

体的に活用する移住者に

防災士の活動対策は

【答】各地区で活動できるよう体制を整える

【質問】

現在の防災士登録者数は。

【答弁(総務課長)】

各地区で18名、町職員3名の合計21名である。

【質問】

防災士の立場は。

【答弁(総務課長)】

災害大国日本において

対する支援策を創設する

ことにより実行していく。

これらの事業を推進す

るに当たり、町内を訪れ

てもらうことが重要であ

り、「お茶の京都」とタイ

いく。

アップして「お茶の京都

博」や「お茶の京都DM

O」への積極的な参加を

通じ、伝統ある宇治田原

茶を広くPRし、展開して

いく。

日常からの防災意識は欠

かせないものであり、地

域防災力の要として養成

した。

【質問】

今後の防災士の活動は。

【答弁(総務課長)】

「自分たちの地区は自

分たちで守る」という自

主防災の必要性・重要性



総合防災訓練の様子

を認識する中、地域防災

の要として、各地区自主

防災会でのアドバイザー

或いはリーダー的立場で

各地区自主防災の牽引役

として活動いただきたい

と考えている。

今後は、防災士として

の知識向上を図るために

も研修会や防災士間の意

見交換会を開催し、更な

る地域防災力の向上を図

り、各地区で活動できる

ような取り組みを展開し

ていく。



お茶の京都ロゴマーク

入学準備金の支援を入学前に

【答】指摘の事例について、調査検討を進めていく



山本 精
議員

【質問】

「就学援助」の一環で支給される新入学児童生徒学用品費等について、支給時期を出資がかさむ入学前に変更した自治体が増えている。国の要綱

は「学齢児童又は学齢生徒」が補助金の対象となつて

いるので6年生に対して支給しても補助金の対象になる。文部科学省初等中等教育局長が「児童生徒が援助を必要とする

時期に速やかに支給できるように通知している」と

国会で答弁している。入学前の3月に支給し保護者の経済的負担軽減に配慮すべきではないか。

【答弁(教育部長)】

指摘いただいた事例について、調査検討を進めていく。



中学校の入学式

学校トイレの洋式化の促進を

【答】大規模改修を視野に入れ検討

【質問】

昨年11月の文部科学省トイレの状況についての調査で、全国の学校トイレの洋式化率は43.3%であった。京都府は39.3%、町は29.8%で全国平均を下回っている。洋式化率を高める必要が

あると思うが。

【答弁(教育部長)】

学校校舎については、大規模改修を行うのか否かに加え、施設のあり方の検討を行っている中で、トイレのみ先行実施は考えていない。

都市計画の変更について

【答】緑豊かな自然と調和したまちを目指した規制誘導を



宇治田原小学校付近の渋滞

【質問】

山手線を宇治田原小学校付近でいったん国道307号に合流する案でその付近の渋滞発生を恐れはないのか。

【答弁(プロジェクト推進課長)】

当該交差点が新たな渋滞発生箇所とならないよう、公安協議等関係機関と十分調整し万全を期したい。

【質問】

用途指定地域の変更で、今後多くの企業の進出が考えられるのか。

また、里山をこれ以上壊してほしくないとの声もあるが。

【答弁(プロジェクト推進課長)】

開発すべきところと保全すべきところを明確にして、緑豊かな自然と調和したまちをめざした適切な規制・誘導を進める。

新庁舎建設予定地の再検討を

【答】再検討は考えていない



今西久美子
議員

【質問】

町長は新庁舎建設予定地を「絶対に被災しない場所」としているが、周辺道路の陥没や土砂崩れなどは想定しないのか。

【答弁(プロジェクト推進課長)】

町長は新庁舎建設予定地を「絶対に被災しない場所」としているが、周辺道路の陥没や土砂崩れなどは想定しないのか。

自然災害は絶対起きないとは言えない。庁舎自体が被災しないこととあわせて、周辺道路を整備し、代替ルートも確立する。

【質問】

響することを考慮し、非公開とした。

【答弁(町長)】

署名については重く受け止めている。庁舎の場所は、住民の命、将来の町を預かるものとして、いろいろと検討した中で決めた。再検討するつもりはない。



田原小、宇治田原小、維孝館中学校が一つに?



砂利採取跡の埋立地が建設予定地

【質問】

建設位置を決める重要な第5回庁舎建設委員会だけを、なぜ非公開としたのか。

【答弁(プロジェクト推進課長)】

建設予定地は個人の土地であり、個人情報や利害関係人等が議事の内容に影響

【答】想定していない

学校施設をどうするか住民投票で決定を

【質問】

小中学校の施設について、一体型か分離型か、今年度中に教育委員会が方向性を出すとしている。

【答弁(町長)】

学校施設をどうするかは、教育の問題であると同時に、地域の歴史と未来にかかわる「まちづくり」の課題として考える

べきである。何をどう議論したのか。

【答弁(教育部長)】

12月、1月、2月に定例の教育委員会を開催し、①小中一貫教育関係の視点②児童数関係の視点等から議論を行い、2月には総合教育会議で意見交換を行った。

【質問】

すべて机上での、住民不在の議論。学校が消えた地域に何かメリットがあるのか。学校施設をどうするかは最終的に住民投票で決定するべきでは。

【答弁(教育部長)】

住民投票は現段階では想定していない。

町防災会議に女性委員の登用を

【答】自主防災会、関係機関と協議・検討

【質問】

政府は2020年までに指導的立場に占める女性の割合を30%以上にす
る目標を掲げている。企業や自治体でも女性活躍の推進に関する行動計画が策定されているが、本町での取り組みは。

【答弁(総務課長)】

男女共に公平に働ける環境や職員同士が助けあ
う職場風土があると判断している。職業生活と家庭生活の継続的な両立を可能にし、働きやすい環境整備を更に推進したい。

【質問】

町防災会議に女性委員の登用をと考えるが。

【質問】

【答弁(総務課長)】
女性の視点を災害時に生かすことは、非常に重

要と考える。自主防災会や防災関係機関と協議する中で人選も含め検討したい。



山内実貴子
議員

町事業への不安を払拭する情報発信・PRを 【答】積極的な発信に努めていく

【質問】

町事業のPRがあまり感じられず、不安の声が大きい。町内の方、訪問者車で通過して行く方等この町の取り組みにワクワクした思いを持っていただき、不安を払拭する取り組み、情報発信・PRを行うべき。

【答弁(総務課長)】

ホームページを改善し、トップページにスライド型メインビジュアルを配置、クリックでシティープロモーションに繋がっていくなど、今後も地域と連携した情報発信に努め、提案も含め検討していく。

【質問】

プラごみ収集の中身の質はどうか。また、ごみの出し方ハンドブックの活用状況は。ごみの減量という観点からの状況や、資源ごみとして収集する効果など再度情報提供し常に啓発を。

【質問】

は約65%で、残りは不適合物としてリサイクルできなかった。収集時袋の外から確認し不適合物混入の場合違反シールを貼るなど、分別の注意点を周知している。昨年新しく作成したハンドブックを活用し、出前講座も実施。適正なごみの出し方の周知に努める。



宇治田原町をさらに PR



出せば資源!

【答】ごみの出し方ハンドブックを活用するなど周知に努める
プラごみについて再度情報提供、啓発を

役場移転後の跡地活用は

【答】公有財産の処分ではなく活用を検討

【質問】

新庁舎建設計画について、他議員と質問内容が重複しており、説明会開催や協議での課題などは

割愛する。

役場庁舎が移転した場

合、大きな跡地が存在す

ることになるが、現時点

での活用の考え方は。

【答弁(副町長)】

昭和34年から現在の場

所に移転し、地域の皆さ

んにはお世話になってい

る。新庁舎の建設が進め

ば、跡地については単な

る公有財産の処分といっ

たことなく、活用を検

討したい。他にも保健セ

ンターや子育て支援セン

ターについても、合わせ

て活用方法を示したい。



松本 健治
議員

ワンストップの移住定住窓口の設置を

【答】人員体制を含め協議する

【質問】

西谷町長の最重要施策

の一つである人口減少対

策について、役場内に移

住定住対応の、専任の係・

担当者(ワンストップ対

応)を窓口配置して、

町内外に、本町の本気度

を示して、積極的な取り

組みを。

【答弁(副町長)】

創生総合戦略の中で、

人口減少対策並びに移住

定住対策は、最重要施策

の三本柱の一つとして掲

げている。丁寧な対応と

きめ細やかなフォローが

大切であり、人員体制も

含め協議を進める。

クリーンアップ活動のサポートを

【答】環境美化ボランティアの皆さんに感謝



ボランティアさんの活動に感謝

【質問】

本町には環境美化に多

くのボランティアの皆さん

が日頃汗を流していた

だいている。気持ち良く

活動できるよう行政にお

いても、今まで以上にサ

ポートを願いたい。今年

度は「お茶の京都のター

ゲットイヤーでもあり、

観光客を暖かい気持ちで

【答弁(副町長)】

環境美化ボランティア

の皆さんには日頃の活動

に、感謝と敬意を表した

い。今年度は「お茶の京

都」のターゲットイヤー

であり、地域と役場職員

含めた「絆」を大切にし、

観光客の皆さんをお迎え

したい。

お迎えできればと思うが。



老朽化進む現在の役場庁舎

町長2期目の方針及び具体的施策は

【答】3本の柱を主に積極的に推進する

【質問】

本町の将来を見据えた時、変革の時期にきている。これからの4年間、町のリーダーとしてどのような思いで舵取りを行っていくのか。

【質問】

原山手線、「新庁舎建設」、「人口減少対策、移住・定住対策」の推進に向けて積極的・重点的に取り組むが、住民の皆様と「百万一心」力を合わせ取り組む。

【質問】

長年にわたる住民の思いが伝わり、府の英断に対して感謝したいが、新庁舎の供用開始と1年以上のギャップがある。本町の取り組みも重要と考

【質問】

原山手線、「新庁舎建設」、「人口減少対策、移住・定住対策」の推進に向けて積極的・重点的に取り組むが、住民の皆様と「百万一心」力を合わせ取り組む。



垣内秋弘 議員

山手線の進捗と見通しは

【答】一歩踏み出したがこれからが正念場

【質問】

長年にわたる住民の思いが伝わり、府の英断に対して感謝したいが、新庁舎の供用開始と1年以上のギャップがある。本町の取り組みも重要と考

【質問】

長年にわたる住民の思いが伝わり、府の英断に対して感謝したいが、新庁舎の供用開始と1年以上のギャップがある。本町の取り組みも重要と考

組織変更後の成果と課題は

【答】行政課題に迅速、柔軟に対応可

【質問】

部制を実施されたが成果と課題は。また、職員人材育成計画は。

【質問】

部制を実施されたが成果と課題は。また、職員人材育成計画は。



庁舎建設予定地

【答弁(町長)】

新都市ゾーンを更に具現化した土地利用及び都市機能を牽引する都市計画制度の導入で、用途変更並びに全体構想の考えは。

【答弁(建設事業部長)】

用途地域・高度地区の指定拡大と都市計画道路の変更手続き

学校トイレ洋式化率の向上を

【答】施設自体の大規模改修も検討必要

【答弁(町長)】

各課間の組織横断的な連携強化はもとより、適切な判断や指示ができる体制が整い、行政課題に迅速、柔軟に対応でき、住民サービスの向上につながる。また、人材育成実施計画に基づき適材適所の人員配置を実施する。



学校トイレ、洋式化の比率UPへ

【質問】

時代のニーズに合わせトイレの洋式化率の向上が必要であり、検討を。洋式化移行への検討は認識しているが、施設自体の大規模改修の検討が必要。

【答弁(教育部長)】

農林業振興事業費補助の拡充を

【答】農地利用の状況を検証し、見直しを検討



浅田 晃 弘
議員

【質問】

荒廃農地が年々増加している。小さい農地を守っている農家が購入する農機具について、農林業振興事業費補助金の交付要件を緩和し、補助できないか。

【答弁（建設事業部長）】

農業委員会に、農地最適化推進委員が設置され、遊休農地や荒廃農地化を未然に防ぐための施策を行う。農地利用の状況を検証する中で見直しを検討する。

【答】情報発信とイメージアップに努める

本町を全国・世界にPRする方策の拡充を

【質問】

全国・世界にダイレクタメール等で発信されている町内事業者へのPR

を掲載して、全国・世界に「お茶の町宇治田原」を発信できないか。また、これにより町内事業者を支援できないか。

【答弁（総務部長）】

町の情報発信とイメージアップに努めていきたい。補助制度として、「地域ブランド育成応援事業補助金」の活用推進を図っていききたいと考えている。

安心・安全見守りカメラの設置を

【答】設置事業費を計上



防犯カメラ設置予定の地域見守りステーション

【質問】

犯罪を未然に防ぐために防犯カメラの設置が必要である。また、動く走る安心安全カメラとなり得るドライブレコーダーが有効と考える。計画的に全車両に取り付けては。

【答弁（町長）】

本町の防犯対策を考えると、防犯カメラも

ドライブレコーダーも大変有効な手段であり、平成29年度当初予算に設置事業費を計上している。

ドライブレコーダーについては、日々町内を走行している清掃車やバス等に搭載を予定している。今後検証する中で、他の

公用車についても搭載を検討していく。



野小屋が倒れ、荒廃化している農地

西谷町長の施政方針は

【答】多世代にわたる『住んでよし』のまちづくりを推進する



馬場 哉
議員

【質問】

2期目これから4年間の町政運営について、地方創生が叫ばれている今、最も重要なことは行

政・住民が知恵を出し合

い、《教育・福祉・産業・

安心安全》各施策をバラ

ンスよく進めていくこと

であり、なかでも喫緊の

課題は「人口減少対策と

移住・定住対策の推進」

である。強みをいかした

「住みよい宇治田原のま

ちづくり」を一丁目一番

地の施策として町政運営

を行うべきである。

【答弁(町長)】

基盤整備だけでなく、

各分野における支援策等

をバランスよく実施する

ことが課題解決につなが

り、それぞれの取り組み

が連関することにより相

乗効果が発揮されるもの

と考えている。

【意見】

現状の具体的な課題に

ついて、要望しておく。

一つ目は「暮らしの安全」

現在の土砂災害・浸水想

定区域の安全対策を新市

街地のまちづくりと並行

して進めていく必要がある。

二つ目は、「公共交通」

高校生の通学費について

保護者の負担軽減策を講

じて、バスのダイヤ改

正により、不便になって

しまつては、住民の不満

が増すばかりである。こ

れら対策は、町の取り組

みだけでは簡単に解決し

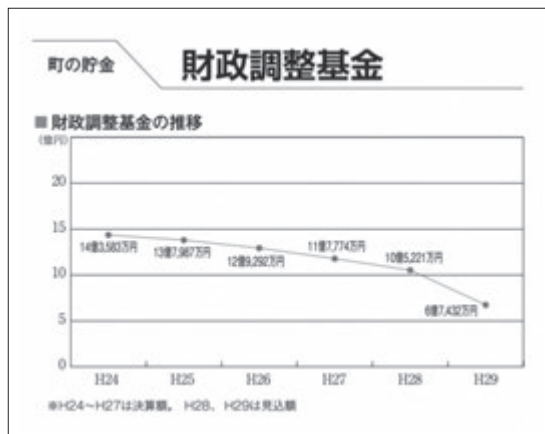
ないと思うが、国や京都

府、関係機関・企業にお

願いをしていただきたい。

財政状況は

【答】持続可能な行財政基盤を維持していく



財政調整基金の推移 (町民の窓4月号から)

【質問】

宇治田原町の預金である財政調整基金が減少している。毎年度の収支バランスで赤字を続けること、基金の残高も底をつくのではないかと懸念している。

【答弁(企画財政課長)】

歳出削減に努めるとともに、更なる行財政改革を推進する。

【質問】

基盤整備とともに、人への投資も不可欠である。教育施設等の方向性が何れになろうとも、財政問題で先延ばしにすることがないように。

【答弁(町長)】

今までもこれからも、教育に関しては、財政を理由にしない。



平成27年12月策定されたまちづくり戦略

関西茶品評会 かぶせ茶 2年連続産地賞受賞

しも	おか	きよ	とみ
下	岡	清	富 さん
かつ	たに	けん	じ
勝	谷	健	士 さん
もり	ぐち	まさ	し
森	口	雅	至 さん



左)森口雅至さん、中央)下岡清富さん、右)勝谷健士さん

平成 28 年度関西茶品評会「かぶせ茶の部」において産地賞を受賞された「下岡清富さん、勝谷健士さん、森口雅至さん」を代表して下岡清富さんにインタビューしました。

Q. お茶をはじめたきっかけは。

A. 父親がお茶を栽培していて、その背中を見て育ったため、大人になったら後を継ぐと子供の頃から思っていました。

Q. 宇治田原町が2年連続産地賞を受賞した感想及び意気込みは。

A. 宇治田原町は生産家も産地としてもいつ受賞してもおかしくない環境にあると思うので、2年連続受賞したことは喜んでいますがこれに満足せず、全国茶品評会で産地賞を受賞できるよう、新たな出品者の育成にも努力していきたいと思っています。

Q. お茶栽培で苦労していることは。

A. 年々お茶摘みをしていただける方が少なくなってきており、お茶摘みをしていただける方を集めるのに苦労しておりますので、お手伝いいただける方を募集しています。

Q. お茶を育てるとは。

A. お茶を育てるというのは、手をかければ思うように育つものではなく、自然に左右されることもあり、積み重ねて手をかけることで、思っている以上の品物ができる時もあり、そういう意味では子供を育てることに似ていると思っています。



年越し手もみ (永谷宗円生家)



町内に広がる茶畑



やすらぎの道



中学校入学式



さくら福祉まつり

次回議会の予定
〈6月定例会〉
6月8日(木)開会日
詳しい予定はHPにて
お知らせします

今号の表紙

保育所での入所式。ほんわかした子どもたちを膝に、保護者の方々も新たな生活のスタートに緊張気味の面持ちでした。

編集後記

小中学校では新入生が新しいライフステージに期待と不安を募らせた4月も、桜の季節と共に通り過ぎ、宇治田原の里は田植えと本格的なお茶シーズンを迎えようとしています。

新年度予算も可決され、いよいよ平成29年度がスタートいたしました。

今年は「お茶の京都」、宇治田原町のお茶をアピールする絶好の機会であり、議会としても盛り上げて参ります。ご意見をお寄せ下さい。

広報編集委員 藤本